

はりらんタイムズ 2014/10月号

ボードゲームの紹介

カツカレー喰ってる場合か!?

4~6人(以上)用、所要時間30分

～ 高けりゃいいってわけじゃない ～



いわゆるオークション(競り)ゲーム。

色々な商品を手札の値段カードで値付けして、たくさん獲得した人が勝ちというシンプルなゲームです。

テーマは「庶民感覚の分かる政治家」、単にお金持ちが勝つわけではありません。

120円から1000万円までいろんな値段の書かれた金額

カードが十数枚づつ配られてきます。

場の中央に出てくる「かばん」「自家用車」「カツカレー」などの商品の値段を全員一斉に手札の金額カードを出して競ります。

基本的には一番高い金額を提示した人が勝ちなのですが、次点の人の提示額より2倍以上高い金額になっている場合は、「庶民感覚のない人(笑)」として失格で、2番手の人が勝ちになるのですが、2番の人も3番の人と比べて...

競り落とした人は、商品と金額のカードと一緒に手元に並べておき得点になり、他の人は出した金額カードを隣の人に渡して手札を1枚づつ入れ替えます。

ルールはすごく簡単で、そこそこの駆け引きと会話、意外な展開を楽しめるので、初心者、未経験者向けゲーム、ちょっとした息抜きに活躍してくれます。

知らない人と遊んだり未経験者に紹介するのによく持ち歩いています。

文: 榎田孝志



ドイツゲーム新聞・ラジオで取材!

8月18日(木)の神戸新聞に「広がれドイツゲーム高砂のNPOが交流会」というタイトルでHDF高砂支部の記事が掲載されました。

取材の様子ですが、終始聞かれるより喋っていたと思います。ドイツゲームを教えてくれた橘さんや、西本さん・榎田さんや、この高砂ゲームに携わってくれた地元で活躍するクリエイターさん(匠工芸・長畑靖香さん)それと、最後にこのゲームと一緒に遊んでくれたこどもたち全員に感謝の気持ちを込めながら話させていただきました。

これからは、何らかの形でお世話になった方たちへ恩返しができるよう努めたいと感じています。

文: HDF高砂支部長 菅寛和



6月23日(月) 17:15ごろから7分間ほどですが、ラジオ関西(55.8kHz)「時間です!林編集長」(16:30~)「イブニングひょうご」コーナーに、兵庫ドイツゲーム普及協会会長が電話で生出演しました。

番組の流れはドイツゲームとはどういうものですか?から始まり兵庫ドイツゲームとかドイツゲームの魅力について、いくつくらい持っていますか?ドイツゲームをどこで買ったらいいかわらない方はどうすれば?と問い合わせ先で締めくくりました。ラジオの方は前日に神戸のボードゲーム専門店トリックプレイさんに下見に行かれたみたいですね。5人ぐらいで男性の方が遊ばれていたとお話しされていました。

メディアに露出しつつあります。